

補助事業番号 21-145

補助事業名 平成 21 年度 日・タイ経済協力の推進補助事業

補助事業者名 社団法人 日・タイ経済協力協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

タイ国の技術力の進歩は、タイへ投資を行う日本企業にとっても有益であることから、広く応用されている重要技術である PLC (下記*注1 ご参照) について、それを用いる制御システムへの関心を高め、人の動きを真似て作動するロボットを PLC を用いて製作し創造性を培うとともに、その成果を産業界の自動化の発展にもつなげてゆける基礎となる競技会を将来を担う学生達を対象に実施する。

学生達の PLC 技術への関心やその応用力の向上は、ひいてはタイ産業界の底上げと強化につながるもので、また、機械工業における我が国の国際交流の推進とアジアとの連携強化の一助とする。

*注 1

PLC: Programmable Logic Controller。センサーやスイッチにより、手足になぞらえた機械 (モータ等) を制御・作動させる情報処理技術で、家電製品や信号機、工場の産業ロボット等、あらゆる分野で広く活用され、自動化・省力化に大きく貢献している。シーケンサ。

(2) 実施内容

ア. PLC 競技会の開催

5 月 30、31 日の 2 日間に亘り、バンコクのモールデパート・バンカピ店 MCC HALL コイン投げ競技を擬して実施され、応募総数 94 チームの中から選ばれた 16 チームがその技を競い、チェンマイ大学のガーンクラーイチームが優勝した。

イ. セミナーの開催

3 月 23 日から 25 日まで、PLC への関心を喚起し知識の普及を図る関連のセミナーを実施した。

2. 予想される事業実施効果

タイ国の明日の工業機械技術を担う学生を対象に昨年度に続いて実施された本事業は、競技会とセミナーを通じて、今後一層の活用が期待される PLC に関する関心を広く誘い、併せてその知識・技術を高める契機となった。また、第 16 回 TPA (下記*注 2 ご参照) ロボットコンテスト・タイ国チャンピオン大会や第 9 回ロボットグランプリ・ジュニア大会等とともに TPA ロボットフェスティバルの一環として繁華施設にお

いて実施されたことから例年にも増して多くの観客を集め、関連セミナーと相俟って PLC を用いた制御システムの重要性と可能性を広く一般に示す結果となり、加えて、日本と関係の深いタイ国法人である TPA が主催したことにより、両国の相互理解と友好関係を一層推進した。また、バンコクにおいて長期に亘り行ってきたロボットコンテスト参加の OB・OG 達のネットワークが現地日系企業にも広く及んでいることから、回を増すごとにそれに続く優秀な候補生の育成に繋がることが期待され、ひいては日系進出企業の競争力向上とタイ国のものづくり基盤産業の技術力強化に繋がることが予想される。

*注 2

TPA:Technology Promotion Association(Thailand-Japan)
1973 年に元日本留学生・研修生が設立した産業人材育成機関
泰日経済技術振興協会

3. 本事業により作成した印刷物等

該当なし

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 社団法人 日・タイ経済協力協会
(ニッタイケイザイキョウリョクキョウカイ)
住 所 : 113-8642
東京都文京区本駒込 2 丁目 12 番 13 号
代表者名 : 会長 榊原 定征 (サカキバラ サダユキ)
担当部署 : 事務局
担当者名 : 課長 村山 秀男 (ムラヤマ ヒデオ)
電話番号 : 03-3946-0841
FAX 番 号 : 03-3946-0896
E-mail : admin@jtecs.or.jp
U R L : <http://www.jtecs.or.jp>